

帯状疱疹予防接種

費用助成を行います！

開始日

令和6年3月1日（金）～

対象者

接種日時点で
富谷市内に
住民票がある
50歳以上の方

注意事項

- ・費用助成は、
生涯に1度限りです。
- ・**令和6年3月1日以降**の接種が対象です。

助成金額・回数

・生ワクチン

助成金額

上限4,000円

助成回数

1回

・不活化ワクチン

助成金額

上限10,000円/回

助成回数

2回

※勤務先等による費用助成と併用することができます。併用する場合は、接種費用から勤務先等助成金額を差し引いた金額と富谷市の助成金額を比較し、少ない金額が助成金額となります。

医薬品副作用被害救済制度

帯状疱疹ワクチン接種は、予防接種法に基づかない任意の予防接種であり、必ず受けなければならぬものではありません。予防接種による効果や副反応、健康被害救済制度などについて理解し、医師から十分な説明を受けたうえで接種しましょう。

万が一、被接種者に健康被害が生じた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する救済制度を受けられる場合があります。



帯状疱疹とは？

帯状疱疹は、成人の約9割の方がウイルスを持っていると考えられており体内に潜伏していた水痘・帯状疱疹ウイルスが免疫力の低下などによって活動を再開することで発症します。¹⁾

帯状疱疹は50歳以上で増加し、80歳までに約3人に1人が発症するといわれております。²⁾

1) 国立感染症研究所：帯状疱疹ワクチン ファクトシート 平成29(2017)年2月10日

2) Shiraki K. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1), ofx007, 2017

予防できる？

帯状疱疹は免疫力の低下によって発症するため、日ごろの体調管理が重要です。食事や睡眠をとり適度な運動やリラックスした時間を持つことでストレスを減らし、免疫力を低下させないことを心がけましょう。

また、ワクチン接種をすることで免疫の強化を図ろうとするのが予防接種です。予防接種は帯状疱疹を完全に防ぐものではありませんが、発症しないための選択肢のひとつです。



申請方法等の流れ

予防接種

医療機関(市内・市外問わず)で予防接種を受け、費用を全額支払います。

▼
①交付申請書 ②通帳の写し ③本人確認書類の写し
④領収書等の写し(被接種者氏名、接種年月日、支払金額、
帯状疱疹ワクチン名(生・不活化ワクチンの区別がつくもの)、
領収印及び接種医療機関名が記載されたもの)をご準備ください。

交付申請書は、市役所健康推進課・各出張所窓口もしくは市公式ホームページから入手できます。

書類準備

申 請

交付申請書に必要書類を添付して市役所へ提出します。
(窓口、郵送のどちらでも申請可能です)

不活化ワクチンについては、2回分まとめての申請が可能です。
申請期限は接種日から1年以内です。

審 査

交付可否の審査後、交付決定通知が届きます。

振 入

指定口座へ助成金が振り込まれます。



市公式ホームページ